

◆ 八王子都税事務所長賞 ◆

「税金でつくる未来」

青梅市立霞台中学校 3年 後藤 愛奈

中学三年生、受験の色も濃くなる日々だ。私は自宅での勉強はあまり集中できないため、家の近くにある中央図書館をよく利用している。この図書館はとてもきれいで広くて、机もたくさんあり、本の種類も充実している。空調も整っていて、夏休みなどは開館から閉館まで利用させてもらっている。周りを見ると私のような学生だけでなく、小さな子どもや年配の人までたくさんの方が利用している。家から徒歩数分の場所にこんなに便利で大きな図書館があるのは本当にありがたい。

最近、自習スペースもさらに整備され、より集中しやすい環境になったことを母に話した。すると、この図書館は税金で造られていること、他にも学校から一人一人貸与されているパソコンや当たり前のように配られる教科書等もみんなの税金でまかなわれていることを教えてくれた。部活で骨折したときに病院へ行ったが、医療費はかからなかった。これも税金でまかなわれていたのだ。このように私たちの周りには税金が活かされている場所や物がたくさんあることを知った。

そこで調べてみると国に納める国税と地方公共団体に納める地方税には様々な種類のものがあった。今の私たち中学生に一番身近なのは消費税だ。親が納めている所得税や住民税、固定資産税に自動車税など。他にもまだまだあるが、これらの税金により私たちの生活が円滑になり、暮らしが便利になっている。大切な税金を使って教育を受けることができ、舗装された道路を歩き、病院で医療を受けて、安心して生活を送っている。税金について調べてみて、改めて税金の仕組みとありがたさ、そして大切さを感じた。

また、国内だけでなく海外の税金についても興味を持ったので調べてみると、海外には消費税二十五パーセントの国もあった。それは国民の幸福度が高いと言われているデンマークだ。それでも国民の不満が少ないのは幼稚園から大学まで教育費が無料。病院も無料といった社会保障が充実していることが理由だ。印象に残ったのは、ハンガリーには「ポテトチップス税」というものがあり、スナック菓子や清涼飲料水など塩分、糖分の多い食品に税金をかけている。これにより国民の肥満防止および健康促進に効果があると期待がされているそうだ。

税金の使い道は様々だが、私たちが安心、安全に生活できるよう有意義に活用してほしい。そして税金により、学習環境が整えられていることに感謝しながら今後も受験勉強に励んでいきたい。将来私も国民の一人として税を納め、よりよい社会づくりに貢献していこうと思う。